

『省エネ手法のご紹介』に関する資料の見方

項目

ユーティリティ毎に資料を編集しております。
『照明』、『空調』、『コンセント・動力』など

- 運用改善
- メンテナンス
- チューニング
- 設備更新

節電項目について、『運用改善』、『メンテナンス』、『チューニング』、『設備更新』の4項目に分類しております。
左側より実行しやすく、すぐ取り組める順に並んでおります。

- 運用改善 : 空調の設定温度の見直しなど運用ルールを見直しすることで節電できる項目 (原則、無償で対応可能)
- メンテナンス : 空調室外機の清掃などのメンテナンス(点検や日常手入れなど)により機器性能を保持・回復することで節電が期待できる項目
- チューニング : 建物の実情に合わせて制御方法を調整するなどの対応により節電できる項目
- 設備更新 : 設備を高効率機器に更新することで節電できる項目

節電項目の分類

- DM制御
- DM警報

デマンド監視装置に対応可能な節電メニューの場合に記載しております
DM警報: デマンド監視装置の警報が発報した際に手動による負荷遮断の対応が可能な節電メニュー
DM制御: デマンド監視装置を利用し空調設備の停止など自動制御可能な節電メニュー

『照明』編

- 運用改善
- メンテナンス
- チューニング
- 設備更新
- DM制御

屋外照明の部分消灯

看板, 駐車場など

節電メニュー

節電メニューの説明

・節電メニューの概要について説明しています。

計算例

・節電効果をお客さまにご理解いただき試算できるように、試算条件や計算式等を記載しております(注: ある条件下による試算事例であり、各々の建物の運用状況等によって節電効果は異なります)。

ポイント

・実際に節電を実施するにあたり、留意すべき事項を記載しております。

○ 駐車場の外灯など屋外照明を半分(50%)消灯することで節電になります。(屋外照明を50%部分消灯の場合)

試算例

18時～翌朝5時の間、屋外照明の半分(50%)を消灯すると...
(駐車場面積8,000m²相当の事例)

■節電効果: **節電効果 28万円/年** 【業務用電力単価を適用】
~~消費電力 約3.6kW~~
~~節電電力量 約14,500kWh~~

■対策内容: 屋外照明の50%消灯

■計算式: 節電電力(kW) = 消費電力 × 部分消灯率
 節電電力量(kWh) = 節電電力 × 対象時間 × 対象日数

【試算条件】

消費電力: 7.2kW(水銀灯400W × 18台)
 部分消灯率: 50%
 対象時間: 11時間/日(18:00～翌5:00)
 対象日数: 365日/年

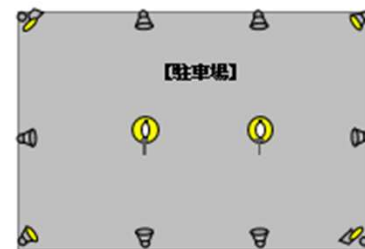
ポイント

- 看板照明が複数個所ある場合、一番宣伝効果がある部分のみ点灯し、その他を消灯させることで節電になります。
- 消灯する際は、防犯上の安全を確認する必要があります。

参考



駐車場照明例



駐車場照明50%消灯事例(イメージ)



看板照明50%消灯事例(イメージ)

参考

・節電の効果や試算を実施する際に参考となる写真やグラフなどを記載しております。